

テーマ

経験価値を活かした地域振興

適用分野

金融経済・金融機関経営・地域振興・ツーリズム



研究名称

金融機関経営と経済社会の写し鏡であるツーリズムの視点から経験価値を活かした地域振興のあり方を考察する

氏名所属

南地伸昭 特任教授
経営学部 経営学科

内容

●特徴

「金融機関経営と地域振興」を基本テーマとして、金融理論や地域社会の課題解決に向けた金融機関の多彩な取組内容について研究している。また、地域社会が有する文化・観光資源を活かした観光創造の観点から、地域振興のあり方を探求している。

提供物としての経済価値の進化

経済価値	コモディティ	製品	サービス	経験
経済システム	農業経済	産業経済	サービス経済	経験経済
経済的機能	抽出	製造	提供	演出
売り物の性質	代替できる	形がある	形がない	思い出に残る
重要な特性	自然	規格	カスタマイズ	個人的
供給方法	大量貯蔵	在庫	オンデマンド	一定期間見せる
売り手	取引業者	メーカー	サービス事業者	ステージャー
買い手	市場	ユーザー	クライアント	ゲスト
需要の源	性質	特徴	便益	感動

経験価値の価値次元の例

経験価値の価値次元	概要
脱日常的価値	日常生活から離れて時間を過ごすことに見出す価値
真正性の価値	本物にふれることに見出す価値
審美的価値	美しいものにふれることに見出す価値
娯楽的価値	何かを楽しむことに見出す価値
教育的価値	何かを学んで知的好奇心を満たすことに見出す価値
社会的価値	人と繋がりが交流することに見出す価値

●研究内容

地域社会との一体感を有する“地域金融機関”は、“地域社会との共存共栄”をめざして、本業の経済的活動に加えて社会的・文化的な多彩な活動を行っている。そこで地域金融機関の地域振興に向けた取組内容を、金融論をはじめ社会学やツーリズムなどの研究領域を援用しながら考察している。とりわけ、進化形の経済価値である“経験価値”と社会の写し鏡である“ツーリズム”の観点から地域振興のあり方について研究している。

経験価値経営に取り組むStarbucks Coffeeの事例

提供物としての経済価値の進化：The Progression of Economic Value

コモディティはコーヒー豆

商品 は ローストされてカップに注がれた コーヒー そのもの

サービス は スマートホンによるキャッシュレス決済 や オフィスへのデリバリーサービス など

経験 は コーヒーの香りが漂い、特別にセレクトされたBGMの流れるユニークな店舗の雰囲気になりながらコーヒーを味わい、スタッフとの会話を楽しむ。



キーワード

金融経済、金融機関経営、地域振興、ツーリズム、経験価値

連携方法

■ 講演 ■ 研修 ■ 研究相談 ■ 学術調査 ■ コメントート ■ 共同研究